

SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC) 四季報^[1]

SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC) 会長
藤原 明比古

1. はじめに (秋号以降の動向)

SPring-8/SACLA 利用者情報秋号 (前号) の SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC) 四季報^[2] 以降、主に NanoTerasu のユーザー共同体との融合に向けて調整をしてきました。本号では、NanoTerasu のユーザー共同体との融合と BLs アップグレードワークショップの準備状況について、状況をご説明したいと思います。

2. NanoTerasu のユーザー共同体との融合

NanoTerasu が 3 月に供用開始することを受け、新ユーザー協同体を 3 月 1 日に設置する準備を進めてきました。近年、SPRUC 特別総会は BLs アップグレードワークショップ期間中に開催してきましたが、この状況を踏まえ、評議員会、特別総会を 1 月の放射光学会期間中に開催しました。また、NanoTerasu ユーザー共同体との合同総会を開催し、皆様のご理解、ご協力と建設的なご意見を頂き、3 月 1 日に「特定放射光施設ユーザー協同体」として新たな組織として出発することが承認されました (図 1)。

今後は、特定放射光施設で実施される実験を大局的に見渡し、我が国における先端放射光研究の成果最大化に向けた議論を進める組織へと発展させていきたいと考えております。

3. BLs アップグレードワークショップ

これまで BLs アップグレードワークショップは SPring-8-II へのアップグレードに向けた情報共有と議論を行ってきました。3 月に特定放射光施設ユーザー協同体が設置されると、ワークショップは SPring-8、SACLA、NanoTerasu という 3 つの特定放射光施設の利用者が集う場となります。そこで、今回のワークショップでは、SPring-8-II に向けた議論ならびに NanoTerasu の理解を深化し、今後の展開について議論したいと考えています。今回は、初日に SPring-8 をテーマとするセッション、2 日目に NanoTerasu をテーマとするセッションとしていますが、将来的には、例えば軟 X 線ビームラインについては施設に関わりなく一つの土俵で議論するなど、日本の先端放射光施設がより良くなるための総合的な議論を進めていく場にしたいと考えております。



図 1 合同総会後の記念写真。

4. おわりに

SPring-8 シンポジウム期間中に開催された評議員会、総会において、NanoTerasu ユーザー共同体との融合に関する基本的方向性が承認されてから新年の評議員会、特別総会まで光陰矢の如しでした。その間、評議員や幹事、事務局の皆様、また、NanoTerasu 関係者の皆様の継続的な取り組みにより特定放射光施設ユーザー協同体を設置する準備が整いました。関係者の皆様のお力添えにお礼申し上げます。

特定放射光施設ユーザー協同体はこれまで以上に、日本の放射光利用研究を総合的に議論する組織として発展していくものと信じております。会員の皆様におかれましては、より良い放射光利用研究の環境整備に向け、ご意見、ご要望等ありましたら、ご連絡を頂ければ幸いです。よろしく願いいたします。

参考文献

- [1] 本記事発行時 (2025 年 3 月) には新ユーザー協同体が設置され、BLs アップグレードワークショップは開催済みの予定ですが、原稿執筆は 1 月のため SPRUC 会長からのメッセージとしています。
- [2] <https://user.spring8.or.jp/sp8info/?p=43605>

藤原 明比古 FUJIWARA Akihiko

関西学院大学 工学部
〒669-1330 兵庫県三田市学園上ヶ原 1 番
TEL : 079-565-9752
e-mail : akihiko.fujiwara@kwansei.ac.jp